

# 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所特任講師公募要領

1	募集件名	特任講師の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所属	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所(WPI-ITbM) および大学院生命農学研究科動物科学専攻動物統合生理学研究室	
4	募集内容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] (雇入れ直後) 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所(WPI-ITbM)では、生命科学・技術を根底から変える革新的機能分子「トランスフォーマティブ生命分子」を生み出すことを目標としています。今回の特任講師の公募では、脊椎動物の季節適応機構や体内時計などに関する研究を通して動物の生産性の向上や創薬への応用を目指すとともに、異分野融合研究を通して新しい研究領域を開拓しうる熱意のある人物を求めます。上記およびその関連分野において優れた業績をあげつつあるとともに、名古屋大学大学院生命農学研究科および農学部における教育と管理運営に責任感と協調性をもって携わる人物が望まれます。	
		【担当する業務】 上記の職務内容に沿って、吉村崇教授と連携して ITbM と大学院生命農学研究科および農学部において研究、教育および管理運営に携わっていただきます。	
		<担当授業科目> (1) 学部 ・動物生理学 1、動物生理学 2、実験実習等 (2) 大学院 ・動物生理学特論 1、生命農学演習、修士論文研究、博士論文研究等 (変更の範囲) ・東海国立大学機構が指定する業務	
		[勤務地] (雇入れ直後) 愛知県名古屋市千種区不老町 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 特任講師・1名	
		[着任時期] 採用決定後できるだけ早い時期（応相談）	
5	募集研究分野	大分類	農学、生物学、複合領域
		小分類	動物生命科学、基礎生物学、ケミカルバイオロジー
6	勤務形態	常勤（任期付） 契約期間：期間の定めあり（任期5年） 試用期間：あり（採用日から6か月） 契約の更新可能性：有（ITbMの雇用更新に係る取り扱いによる審査による） 通算契約期間：10年を上限とする	
7	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間生物学、ケミカルバイオロジー、動物生理学などの研究分野で優れた研究実績を有する者</li> <li>・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感、協調性を持って取り組むことができる者</li> <li>・動物生理学に関連する講義、実習ができる者</li> </ul>
8	待遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。  <a href="https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm">https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm</a></li> <li>・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用職員給与規程において定める年俸制とする。  <a href="https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110000191.htm">https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110000191.htm</a></li> <li>・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされます。</li> <li>・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）</li> <li>・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険</li> <li>・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止</li> </ul>
9	応募期間	2025年1月27日～2025年2月28日 日本時間（必着）
10	応募・選考結果通知連絡先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む）</li> <li>(2) 履歴書（西暦表記）</li> <li>(3) 研究業績リスト（原著論文、総説、著書、特許、その他に分類し、番号を付けてください。原著論文の責任著者に*印を付けてください。）</li> <li>(4) 現在までの研究の概要（2,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと）</li> <li>(5) 今後の研究に関する計画と抱負（2,000字程度）</li> <li>(6) 大学院・学部における教育に対する考え方と抱負（1,000字程度）</li> <li>(7) 過去10年間の研究費獲得状況（科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と金額を明記のこと）</li> <li>(8) 研究室内で連携して業務を遂行していくことについての考え、および大学における管理運営、社会連携、国際協働についての考え（1,000字程度）</li> <li>(9) その他（教育実績、学協会関連活動、社会貢献など選考の参考になる事項）</li> <li>(10) 応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス</li> <li>(11) 「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」（「11 その他」のリンク先に提示した「様式1」）</li> <li>(12) 論文等のPDFファイル（主要なもの10編程度）</li> </ol> <p>[書類送付先]</p> <p>上記の提出書類(1)～(10)を1つのPDFファイルにまとめ、主要論文のPDFファイルとともにフォルダに入れ、圧縮（ZIP形式）フォルダにしたものを、以下のアドレスに添付で送信してください。</p> <p>メールのタイトルは「ITbM 特任講師応募（氏名）」としてください。</p>

		<p>また、ファイルサイズは全体で 50MB を超えないようにしてください。やむをえず超えてしまう場合は、あらかじめご連絡ください。電子メールでの提出はファイルのサイズが大きい場合、受信できない可能性がありますので、可能な限りファイル共有サーバーをご使用くださるようお願いいたします。</p> <p>書類の送付先アドレス（電子メール）：(takashiy[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。)</p> <p>[問い合わせ先] 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所特任講師選考委員会 委員長 吉村 崇 宛 送付先アドレス（電子メール）：(takashiy[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。) ※応募締め切りの 1 週間後までに応募書類を受領した旨の連絡（電子メール）がない場合には、必ず委員長までお問合せください。</p>
		<p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書類選考の上、面接を実施することがあります（対面またはオンライン・応相談）。 なお、対面で面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。</li> <li>・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。</li> </ul>
11	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ※名古屋大学の取り組みについては下記をご覧ください。 <a href="http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/">http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/</a></li> <li>・応募データは、本選考以外の目的には使用しません。</li> <li>・応募データは、本選考委員会が責任を持って処分します。</li> <li>・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」（<a href="https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html">https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html</a> の「様式 1」）の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。</li> </ul>